

関西国際空港における「給油対応力の強化に向けた行動計画」(概要)

(令和7年12月 関西国際空港における給油作業員の確保に向けたワーキンググループとりまとめ)

背景・位置づけ

- 関西国際空港において、24冬ダイヤ時点で給油が原因で新規就航・増便が困難な事案が複数確認。こうした事態に対処するため、令和7年4月に本WGを設置し、関係者※間で認識の共有や対策の検討、情報共有等を図ってきたところ。
- 給油対応力の強化に向けて、足元の就航需要に対応しつつ、年間発着回数30万回を目指す2030年代前半を見据え、中長期的な視点でも課題の検討と取組を進める必要。
- 今般、関係者が重点的に取り組むべき課題と具体的な対応方策を整理し、行動計画としてとりまとめ。

※ 関西エアポート（KAP）、エアライン団体、石油元売り事業者、給油事業者 等

1. 人材確保

1-1. 給油作業員の人数不足への対応

- 給油作業員の新規採用 <給油事業者>
- KAPグループ会社から給油事業者への給油資格保持者の派遣 <KAP・給油事業者>
- 給油事業者が行う採用活動への協力・支援 <大阪府・関空促進協・KAP>

1-2. 外国人材の活用

- 外国人材の活用に向けた環境整備 <国>

2. 労働環境の改善

2-1. 休憩室の老朽化対応・環境改善

- 従業員休憩室（制限区域）の整備・拡張 <KAP>

2-2. 酷暑への対応

- 热中症対策等の実施 <給油事業者>

3. 業務効率化

3-1. 給油車両等の共有による維持費削減・省力化

- 給油車両の共用化に向けた検討 <KAP・給油事業者>
- 運転を必要としない給油車両の導入検討 <KAP・給油事業者>

3-2. 給油作業員の研修期間の短縮に資する取組

- 給油パネル操作訓練の相互承認による研修期間の短縮 <定期航空協会・給油事業者・石油元売り事業者>

4. 安定的な給油体制の確保

4-1. 就航需要に応じた効率的な人員配置

- 給油事業者間での昼夜契約スワップ <石油元売り事業者・給油事業者>
- 給油作業員の効率的な配置に資する環境整備に向けた検討 <本WG構成員>

4-2. 給油契約に反するタンカリングへの対応

- 給油契約に反するタンカリングでの運航に対する定期的な注意喚起 <KIXAOC>

5. その他

5-1. 深夜帯における通勤手段の確保

- 深夜アクセスバスの継続運行 <KAP・バス事業者>